



平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月10日

上場取引所 東

上場会社名 三協・立山ホールディングス株式会社
コード番号 3432 URL <http://www.sthdg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 正和

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 安徳

TEL 0766-20-2122

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第3四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	201,268	3.4	7,830	20.3	6,733	27.4	5,090	—
23年5月期第3四半期	194,610	5.3	6,506	100.2	5,283	175.7	188	△84.3

(注)包括利益 24年5月期第3四半期 6,264百万円 (—%) 23年5月期第3四半期 448百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第3四半期	16.26	—
23年5月期第3四半期	0.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第3四半期	223,086	54,541	24.0
23年5月期	212,172	48,210	22.3

(参考)自己資本 24年5月期第3四半期 53,615百万円 23年5月期 47,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	269,000	3.1	9,000	13.8	7,600	18.6	5,200	718.1	16.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期3Q	324,596,314 株	23年5月期	324,596,314 株
② 期末自己株式数	24年5月期3Q	11,561,743 株	23年5月期	11,521,164 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期3Q	313,057,579 株	23年5月期3Q	313,375,170 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧需要の顕在化などにより国内需要を中心とした回復は見られたものの、欧州債務問題、円高など、取り巻く外部環境の厳しさが続いており、依然先行き不透明な状況にありました。

このような状況下、平成24年5月期は現中期3ヵ年経営計画の最終年度にあたり、「建材事業の再生、構造改革から利益ある成長軌道へ」を基本方針とし、改善施策の推進など安定した収益基盤の構築を図るとともに、改装・リフォーム、非建材や海外事業強化などの次の成長に向けた戦略の実行にも取り組みました。さらに震災の復旧・復興や省エネ等に伴う需要に対応するよう努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,012億68百万円（前年同期比3.4%増）となりました。利益面では、営業利益78億30百万円（前年同期比20.3%増）、経常利益67億33百万円（前年同期比27.4%増）、四半期純利益50億90百万円（前年同期は1億88百万円）と増益となりました。

建材事業

建材事業においては、震災復旧需要や住宅エコポイントの再開による需要拡大に対応するとともに、改装・リフォーム需要等の取り込みを進めた結果、売上高1,526億85百万円（前年同期比2.6%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、コスト・受注改善施策などを推し進めましたが、38億16百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

マテリアル事業

マテリアル事業においては、震災後、主力の国内押出型材市場は前年同期並みとなりましたが、円高等の影響や電気機器関連製品の受注が減少したことなどにより、売上高は272億90百万円（前年同期比0.7%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、高付加価値品へのシフトやコストダウンを進めたことなどにより、21億72百万円（前年同期比24.1%増）と増益となりました。

商業施設事業

商業施設事業においては、震災復旧や小売業を中心とした節電需要に対応したこと、海外調達比率を高めてコストダウンを進めたことなどにより、売上高211億89百万円（前年同期比16.1%増）、セグメント利益（営業利益）14億19百万円（前年同期比152.8%増）と増収・増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,230億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて109億14百万円増加いたしました。これは、売上債権及び棚卸資産の増加などによるものです。

負債の部は仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べて45億82百万円増加し、1,685億44百万円となりました。また、純資産は、四半期純利益などの計上により63億31百万円増加し、545億41百万円となり、自己資本比率は24.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、当第3四半期連結累計期間までの業績を踏まえ見直した結果、平成24年1月10日に公表した平成24年5月期（平成23年6月1日～平成24年5月31日）の通期連結業績予想を、下記のとおり変更しております。

平成24年5月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年6月1日～平成24年5月31日）

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	267,000	8,400	6,900	4,600	14円69銭
今回発表予想(B)	269,000	9,000	7,600	5,200	16円61銭
増減額(B-A)	2,000	600	700	600	—
増減率(%)	0.7	7.1	10.1	13.0	—
(ご参考)前期実績 (平成23年5月期)	260,978	7,906	6,410	635	2円03銭

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,041	27,982
受取手形及び売掛金	50,332	54,173
商品及び製品	10,208	11,401
仕掛品	12,128	16,659
原材料及び貯蔵品	3,054	3,248
その他	5,313	4,592
貸倒引当金	△2,681	△3,472
流動資産合計	102,396	114,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,920	28,814
土地	52,169	52,405
その他(純額)	12,381	11,820
有形固定資産合計	94,470	93,039
無形固定資産		
その他	1,081	1,017
無形固定資産合計	1,081	1,017
投資その他の資産		
投資有価証券	10,147	10,343
その他	7,452	6,925
貸倒引当金	△3,375	△2,825
投資その他の資産合計	14,223	14,442
固定資産合計	109,776	108,500
資産合計	212,172	223,086
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,795	52,142
短期借入金	33,155	31,620
1年内償還予定の社債	40	74
1年内返済予定の長期借入金	18,462	17,841
未払法人税等	673	1,127
引当金	494	1,873
その他	17,281	17,376
流動負債合計	114,902	122,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
固定負債		
社債	700	746
長期借入金	28,260	27,536
退職給付引当金	5,836	6,007
製品改修引当金	3,700	2,773
引当金	28	24
負ののれん	68	17
資産除去債務	417	421
その他	10,047	8,961
固定負債合計	49,059	46,488
負債合計	163,961	168,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	35,568	35,567
利益剰余金	197	5,388
自己株式	△2,913	△2,917
株主資本合計	47,852	53,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,277	△972
繰延ヘッジ損益	—	21
土地再評価差額金	745	1,540
為替換算調整勘定	8	△11
その他の包括利益累計額合計	△523	577
少数株主持分	881	925
純資産合計	48,210	54,541
負債純資産合計	212,172	223,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	194,610	201,268
売上原価	147,103	150,328
売上総利益	47,506	50,940
販売費及び一般管理費	41,000	43,110
営業利益	6,506	7,830
営業外収益		
受取利息	36	33
受取配当金	162	186
持分法による投資利益	92	190
負ののれん償却額	51	51
その他	827	769
営業外収益合計	1,170	1,231
営業外費用		
支払利息	1,322	1,261
売上割引	463	446
その他	607	620
営業外費用合計	2,393	2,328
経常利益	5,283	6,733
特別利益		
固定資産売却益	60	44
投資有価証券売却益	1	22
貸倒引当金戻入額	29	—
その他	10	3
特別利益合計	102	69
特別損失		
固定資産売却損	199	23
固定資産除却損	254	77
減損損失	372	135
投資有価証券評価損	24	37
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	171	—
製品改修引当金繰入額	3,700	—
その他	50	38
特別損失合計	4,774	311
税金等調整前四半期純利益	611	6,492
法人税等	437	1,353
少数株主損益調整前四半期純利益	174	5,138
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△14	48
四半期純利益	188	5,090

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	174	5,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	372	302
繰延ヘッジ損益	△28	21
土地再評価差額金	—	819
為替換算調整勘定	△67	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	1
その他の包括利益合計	273	1,125
四半期包括利益	448	6,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463	6,215
少数株主に係る四半期包括利益	△15	48

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建材事業	マテリアル 事業	商業施設 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	148,776	27,494	18,256	194,528	82	194,610	—	194,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,678	19,084	221	23,984	—	23,984	△23,984	—
計	153,454	46,578	18,478	218,512	82	218,594	△23,984	194,610
セグメント利益	3,949	1,750	561	6,261	52	6,314	192	6,506

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額192百万円には、セグメント間取引消去3,307百万円、たな卸資産の調整額△25百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△3,089百万円が含まれております。全社費用は、主として連結財務諸表提出会社の総務部、人事部、財務部など、管理部門に係る費用であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建材事業	マテリアル 事業	商業施設 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	152,685	27,290	21,189	201,165	103	201,268	—	201,268
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,031	19,229	142	23,404	—	23,404	△23,404	—
計	156,716	46,520	21,332	224,569	103	224,672	△23,404	201,268
セグメント利益	3,816	2,172	1,419	7,408	75	7,483	346	7,830

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額346百万円には、セグメント間取引消去2,985百万円、たな卸資産の調整額48百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△2,687百万円が含まれております。全社費用は、主として連結財務諸表提出会社の総務部、人事部、財務部など、管理部門に係る費用であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動および重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。